



アトピーへの正しい視点 みんなで考えるアトピージャーナル

**JADPA**



NPO法人日本アトピー協会

発行：NPO法人 日本アトピー協会 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階 電話.06-6204-0002 FAX.06-6204-0052  
Eメール：jadpa@wing.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.nihonatopy.join-us.jp/

<b>CONTENTS</b>	◆ 新しい出会い「触れる・さわる」…………… P1~P5	◆ ハーイ!アトピーづき合い40年の友実です…………… P6 (アナウンサー関根友実さん・第24回)
	長〜い痒みの歴史…………… P1	◆ ちょっと気になるニュース…………… P6 (日用品による皮膚障害あれこれ)
	接触皮膚炎とは…………… P1	◆ ドクターインタビュー…………… P7 医療法人 河合敬一皮膚科医院 院長 河合 敬一先生
	ジャパニーズスタンダードアレルゲン…………… P2	◆ ATOPICS…………… P8 恒例 秋のリクレーションに行ってきました! 円錐角膜の患者さんが電子書籍出版!
	「パッチテストパネル®(S)」の登場…………… P3	ブックレビュー…………… P8
	日用品による危険情報…………… P3	
	気になる日用品…………… P3	
	衣類に対する日本の規制…………… P5	
	◆ 法人賛助会員様ご紹介 第30回…………… P3	

3・4月は新学期・新年度の始まりです。新しい出会いもありますが、生活環境が変わったり、人事異動などで仕事環境が変わったりと、新しい環境に戸惑うこともあるかもしれません。今回は、そんな環境の変化によって知らないうちに「触れる・さわる」ことで起こる「接触皮膚炎」について調べてみました。

**\* 新しい出会い「触れる・さわる」 \***

**長〜い痒みの歴史**  
アレルギーやアトピー性皮膚炎は、環境の複合汚染によって現れた新しい病気という考え方もありますが、紀元前63年生まれとされるローマ皇帝アウグストゥス(カエサル)が湿疹や喘息・鼻炎で悩んだと伝えられアトピー性疾患では?とされています。また、江戸時代の医学文献に「雁瘡(がながさ)」という言葉がしばしば登場し、アトピーではないかという説や、明治時代の医師・薬剤師で陸軍医や薬剤師として活躍し、「担架」の発明や玄米礼賛で知られた石塚左玄も思春期から強烈な痒さに悩まされ、アトピーだったらしいと推測されています。医学史的には、1846年にヘブナーが「病理解剖学に立脚した皮膚疾患の分類」と題した論文を発表。1892年にベニエーが乳児期湿疹に注目した詳細な記述を残し、後にベニエー痒疹と名付けられました。また、1923年にはコカによって、人類特有に遺伝するアレルギーにアトピーという概念を導入。そして、1933年サルツパーガーがアトピー性皮膚炎(Atopic Dermatitis)の病名を命名しました。

**接触皮膚炎とは?**

「接触皮膚炎」とは、外来性の刺激物質や抗原(ハプテン)が皮膚に接触することによって発症する湿疹性の炎症反応とされています。湿疹とは、外的、内的刺激に対する表皮・真皮上層を場とし、痒みやヒリヒリ感を伴う炎症反応です。接触皮膚炎の原因物質が慢性的に皮膚に作用すると慢性接触皮膚炎となり、皮膚の肥厚が起こり、苔癬化

(たいせんか)肌が厚くなり、色素沈着が起こる)局面を形成するとされています。

接触皮膚炎の原因では、昭和35年からの10年間では外用薬が第一位を占めていましたが、その絶対数及び接触皮膚炎に占める割合も減少傾向を示しています。これに対して、化粧品は昭和45年までは常に第二位を占めていましたが、それ以降は外用薬を抜いて第一位となり、しかも60年代前半ではその比率が急増しています。特に、昭和61~62年頃より顔の化粧品、頭髪用品の台頭が著しく、アイシャドウなどメイク製品が目立ち、染毛剤、コールドパーマ液の増加も顕著でした。

接触皮膚炎は大きく「刺激性」と「アレルギー性」に分類され、さらに光線の関与したタイプを加えて「1.刺激性接触皮膚炎」「2.アレルギー性接触皮膚炎」「3.光接触皮膚炎」「4.全身性接触皮膚炎・接触皮膚炎症候群」「5.接触蕁麻疹」に分類されます。

**■ 刺激性接触皮膚炎**  
正常な皮膚では、分子量1,000以上の物質が角層を通過することはないと考えられていますが、刺激性接触皮膚炎では、皮膚に接触した刺激物質が傷害部位より侵入して細胞を刺激し、炎症が起こると考えられています。

**■ アレルギー性接触皮膚炎**  
刺激性接触皮膚炎と異なり、微量の抗原で皮膚炎を起こし得るのがアレルギー性接触皮膚炎です。この皮膚炎の発症のメカニズムは、大きく「感作相」と「惹起(じゃつき)相」の2つに分類されます。感作相では、アレルギー反応を起こす原因物質に対して、免疫機能により抗体がつくられて記憶されます。惹起相は、まだ明らかにされていない部分が多いようですが、感作が成立した後の生体に、以前の抗原物質が付着すると湿疹反応を引き起こすとされています。

**■ 光接触皮膚炎**  
皮膚炎が発症する要素には光を必要とする型のものがあり、これを光接触皮膚炎と呼びます。一般の接触皮膚炎に一次刺激性とアレルギー性があるように、光接触皮膚炎にも光毒性と光アレルギー性があり、頻度的には後者が多いようです。光毒性では、物質に紫外線が

**患者さんからのご相談はいつでもお受けします。**  
症状がいつこうに改善されず長びく治療にイライラが募り先行きを悲観…ちょっと待った! 全国約600万人の方があなたと同じ悩みをかかえています。ここではみんなで「連帯」し、ささえあいましょう。日本アトピー協会をそのコア=核としてご利用ください。

**ご相談は**  
電話：06-6204-0002 FAX：06-6204-0052  
メール：jadpa@wing.ocn.ne.jp  
お手紙は表紙タイトルの住所まで、なおご相談は出来るだけ文面にしてお願いします。電話の場合はあらかじめ要点をメモにしてすみじかをお願いします。(ご相談は無料です。)

◆協会は法人企業各社のご賛助で運営しております。 ◆患者さんやそのご家族からのご相談は全て無料で行っております。

当たり、それによって活性酸素が発生し組織・細胞傷害をもたらします。光アレルギー性は、皮膚に感作物質が接触し、UVA(長波長紫外線)が照射されると発症します。UVAは窓ガラスも通過するため注意が必要です。

### ■ 全身性接触皮膚炎・接触皮膚炎症候群

接触感作の成立後、同一の抗原が繰り返し接触し、強い痒みを伴う皮膚病変が接触範囲を超えて全身に出現する場合は接触皮膚炎症候群と呼びます。典型的なものは自家感作性皮膚炎(治療が不十分だったり、細菌感染を起こすなどで悪化し、接触患部ではない箇所に湿疹などの症状が見られる状態で、小児は「とびひ」などからなる場合もある)のような症状となります。これは、血行性に散布されて生じるものと推測されています。

接触感作成立後に同一抗原が経口・吸入・注射など非経皮的なルートで生体に侵入することによって全身に皮膚炎が生じたものを全身性接触皮膚炎と呼びます。また金属が原因の場合、全身型金属アレルギーと呼ばれることもあります。

### ■ 接触蕁麻疹

経皮的な物質の接触により起こる蕁麻疹反応のことで、多くの場合、物質が接触した部位に即時に膨疹が出現します。稀に数時間後の膨疹の出現や、他の部位に症状が拡大する場合があります。さらに、搔破などにより遅延型湿疹反応を伴うこともあります。

## \* ジャパニーズスタンダードアレルゲン \*

接触性アレルギー治療の第一歩として、アレルゲンの絞り込みができる診断基準の作成のために、日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会パッチテスト試薬協同研究委員会が、日本での陽性率の高いアレルゲン25項目の抗原試薬を「ジャパニーズスタンダードアレルゲン」として選定しました。これをもとに2008年度から診断が困難な接触アレルギーの患者さんにパッチテストを行い、毎年全国レベルで集計し、このデータを分析・傾向を把握して精度を高めていく方針です。以下25項目をご紹介します。

### ■ 塩化コバルト(Cobalt chloride)

種類:金属 用途:合金として多く使用。メッキ製品、歯科金属やセメント、染毛剤、印刷インキ、ビタミンB12製剤(メチコバルル)、接着剤、色素、絵の具、クレヨン、陶磁器、エナメル、粘土、ポリエステル系プラスチックなど。

\*塩化コバルト(II)は、シリカゲルに混ぜて湿気の吸収具合を色の变化で示す指示薬として使用されている。

### ■ PPDブラックラバーミックス(PPD black rubber mix)

種類:老化防止剤 用途:タイヤ、部品、ビューラーのゴムなど黒または灰色のゴム製品、黒いゴムのブーツ、手袋、靴底、イヤホン、ステッキの柄、ウィンドサーフィンボード、サポートストッキング、タイヤ、チューブ、エスカレーターの手すりなど。

\*ヘアダイの成分であるパラフェニレンジアミン(PPD)と交差反応を生じることがある。

### ■ 金チオ硫酸ナトリウム(Gold sodium thiosulfate)

種類:金属 用途:貴金属、ピアス、歯冠など。

### ■ チウラムミックス(Thiuram mix)

種類:加硫促進剤 用途:ゴム製品(手袋、長靴、水泳用具、下着、化粧用パフ、綿棒、ビューラーなど)、殺菌消毒薬、農業用殺虫薬、接着剤、石鹸など。

### ■ 硫酸ニッケル(Nickel sulfate)

種類:金属 用途:ニッケル合金製品、ニッケル硬貨(50円、100円、500円硬貨)、歯科金属、ステンレス製品、陶磁器、磁石、塗料、ガラス、エナメルなど。

\*缶詰、牡蠣、緑黄色野菜、ココア、チョコレート、蕎麦、海苔、オートミール、紅茶、ナッツ類、豆類などにニッケルは多く含まれる。50円、100円硬貨は銅とニッケルの合金。500円硬貨は銅・亜鉛・ニッケルの合金。

### ■ メルカプトミックス(Mercapto mix)

種類:加硫促進剤 用途:ゴム靴(スニーカー、テニスシューズなど)、革靴(接着裏地、敷革)、ゴム手袋、下着(ブラジャー、ガードル)、タイヤ、チューブ、ゴム製おもちゃ、ゴム風船など。

### ■ ジチオカーバメイトミックス(Dithiocarbamate mix)

種類:加硫促進剤 用途:ゴム製品の製造工程で使用される。

### ■ カインミックス(Caine mix)

種類:局所麻酔 用途:市販の痒み止め外用剤、市販抗真菌外用剤など。

### ■ 硫酸フラジオマイシン(PPD black rubber mix)

種類:抗生剤 用途:外用薬として多く使用される。リンデロンA軟膏、ネオドロールEE、バラマイシン軟膏、クロマイP軟膏など。

### ■ バルサムオブペルー(Balsam of Peru)

種類:香料、防腐剤 用途:化粧品、医療外用剤、座薬、陶器、ソフトドリンク、絆創膏など。

\*シナモン、クローブ、オイゲノールなどと交差反応する。

### ■ ロジン(Rosin)

種類:天然樹脂 用途:インキ、塗料、接着剤、滑り止め(野球のロジンバッグ、バイオリンなど弦楽器の弓への塗布など)、医薬品(湿布薬、テープなど)、ダンスシューズの滑り止め、マスカラ、除毛ワックスなど。

\*バルサムオブペルーと交差反応を示すことがある。

### ■ フレグランスミックス(Fragrance mix)

種類:香料 用途:シナモンを含むガムや飴、メントールのタバコ、シャンプー、リンス、化粧品、石鹸、香水、線香、お香、アイスクリーム、蕎麦、コーラなど。

### ■ パラベンミックス(Paraben mix)

種類:防腐剤 用途:食品や外用剤、化粧品など。

### ■ パラフェニレンジアミン(p-Phenylene diamine)

種類:黒色の染料 用途:毛染め剤の成分として使用される。

\*植物性染料の「ヘナ」と呼ばれるヘアダイなどにも含有されていることも。また、遅延型の接触皮膚炎だけでなく、蕁麻疹、アナフィラキシーなどの即時型反応を生じることがある。

### ■ ラノリンアルコール(Lanolin alcohol)

種類:乳化安定剤、結合剤 用途:化粧品のクリームや乳液、外用剤、家具の艶出し、金属のサビ止め、ワックスなど。

\*羊毛を刈り取ってウールに仕上げる時の副産物として得られるラノリンが原料。

### ■ パラターシャリーブチルフェノールホルムアルデヒドレジン(p-tertiary-Butylphenol formaldehyde resin)

種類:合成樹脂 用途:ゴムや靴、ハンドバッグ、ウエットスーツ、マーカーペンなど。

### ■ エポキシレジン(Epoxy resin)

種類:合成樹脂 用途:自動車や家庭用電化製品の塗料や接着剤、床など。

### ■ プリミン(Primin)

種類:植物 含有:サクランソウなど。

\*サクランソウによる接触皮膚炎の原因物質となる。

### ■ ウルシオール(Urushiol)

種類:植物 含有:ウルシ科の植物。

\*カシューナッツの殻やマンゴーの果実にも認められる。イチヨウ、銀杏と交差反応がある。日本人の約10%がこの物質に陽性。

### ■ セスキテルペンラクトンミックス(Sesquiterpene lactone mix)

種類:植物 含有:キク科の植物。

\*ヨモギ、カモミール、マーガレット、ひまわり、レタスもキク科植物。

### ■ 重クロム酸カリウム(Potassium dichromate)

種類:金属 用途:皮革製品、セメント、ボールペン、印刷インクなど。

### ■ チメロサル(Thimerosal)

種類:防腐剤 用途:化粧品やワクチンの防腐剤など(ただし、ワクチンへの添加は最近では減量・無添加方向)。

\*チメロサルに陽性である場合、解熱・鎮痛薬(バキソ、フェルデン)にも過敏症を生じる可能性がある。

### ■ ホルムアルデヒド(Formaldehyde)

種類:防腐剤 用途:低濃度の水溶液や消毒薬としても使用される。合板家具、壁紙、接着剤、衣料品仕上げ剤、抗カビ剤など。

\*建材などから空気中に放出されることも。

### ■ ケーソンCG(Kathon CG)

種類:防腐剤 用途:シャンプー、リンス、外国製化粧品。海外では化粧品に防腐剤として使用されるが、日本では洗い流す化粧品のものに15ppmまでの使用が許可されている。

\*冷却ジェル寝具、冷感タオルによるアレルギー性接触皮膚炎事例では、ケーソンCGとともにケーソン893も原因物質。

### ■ 塩化第二水銀(Mercuric chloride)

種類:金属 用途:銀・スズ・銅などとアマルガムとして歯科治療に使用されていたが、最近では殆ど使用されていない。



**\* 「パッチテストパネル®(S)」の登場 \***

佐藤製薬株式会社は、2015年5月にアレルギー性皮膚疾患検査薬「パッチテストパネル®(S)」を発売しました。これは、患者さんの皮膚に貼付するだけで、22種類のアレルゲンについて一度にパッチテストが行えるものです。

用法としては、本剤を皮膚面に貼付し、2日後に本剤を剥がし、30分～1時間後及び1日または2日後に反応を判定します。必要に応じて剥がして3～5日後にも同様に判定します。なお、保健適応されますが、24項目のセット検査(22種類のアレルゲン)になりますので、個々の項目のみの検査はできません。これを使用して、全てのアレルギーの原因がわかるわけではありませんが、これまで漠然と「毛染めが悪いのかもしれない」、「着ている服が悪いのかもしれない」などと思われていたことに、一定の結論を出せるかもしれません。例えば、頑固な手湿疹(主婦湿疹)などの難治性手湿疹で原因がわかる可能性もあります。なお、日本皮膚科学会ガイドラインによると、「妊婦にはパッチテストを実施しない」「プレドニゾロンを1日15mg以上経口内服している患者にはパッチテストを実施しない」とされています。



写真提供：佐藤製薬(株)

**\* 日用品による危険情報 \***

全国消費生活情報ネットワーク・システム「PIO-NET」

国民生活センターと全国の消費生活センターをネットワークで結び、消費者から消費生活センターに寄せられる消費生活に関する苦情相談情報(消費生活相談情報)の収集を行っているシステムが「PIO-NET/全国消費生活情報ネットワーク・システム」です。このシステムが、2013年度に消費生活センターから収集した危険情報は13,700件で、2012年度(10,599件)と比べると3,101件も増加していることがわかりました。特に、1位の「化粧品」が908件増加、「洗濯用洗剤」が246件も増加していました。危険情報の上位10商品は以下の通りです。また、危害内容で最も多かったのは「皮膚障害」で4,030件(29.4%)となっています。

2013年度 危険情報の上位10商品【消費生活センター】

商品名	商品名	件数	%
1位	化粧品	2,313	16.9
2位	調理食品	1,407	10.3
3位	医療サービス	1,056	7.7
4位	エステティックサービス	661	4.8
5位	健康食品	655	4.8
6位	外食	459	3.4
7位	柔軟仕上げ剤などの洗濯用洗剤	317	2.3
8位	歯科治療	301	2.2
9位	美容院	300	2.2
10位	飲料	259	1.9

厚生省医薬食品局による皮膚障害の報告件数

また、厚生省医薬食品局による皮膚障害のべ報告件数上位10品目を見ると、前年度2位の洗剤が1位になっていました。

2012年度 家庭用品による皮膚障害のべ報告件数(上位10品目)【厚生省医薬食品局】

商品名	商品名	件数	%
1位	洗剤	23	12.4
2位	ゴム・ビニール手袋	18	9.7
3位	装飾品	18	7.7
4位	時計バンド	8	4.3
5位	下着	5	2.7
6位	ハンドバッグ・カバン	5	2.7
7位	めがね	5	2.7
8位	時計	5	2.7
9位	洗剤	4	2.2
10位	染料/漆器	4	2.2

\*家庭用品による調査のため、化粧品類は含まれない。

**\* 気になる日用品 \***

子ども用化粧品が人気です!

(社)日本玩具協会の調査によると、玩具メーカーが販売している子ども用化粧品の売上は、2004～2005年で年間約20～30億円程度で、それ以外も含めた子ども用化粧品全体では、2003年には60億円であったというデータもあります。

子ども用化粧品は薬事法の適用を受けており、使用できる成分は大人の化粧品と同等のものです。種類は特にマニキュアやリップ・グロス類が多いようですが、アイシャドウなどもあります。除去方法としては、

法人賛助会員様ご紹介 第30回

敬称略

協会は多くの法人賛助会員様の年会費によって会務を行っており、本紙面を通じまして日頃お世話になっております法人様を順次ご紹介しております。関係各位にコメントをお願いしておりますので、ぜひ患者さんへの一言をお願い致します。

**アンブロシア株式会社**

平成23年 ご入会

- ◆ 所在地 〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1
- ◆ 電話 050-5824-5070
- ◆ 業種 検査サービス・食品の輸入販売。
- ◆ 関連商品 アレルギー検査、代謝、環境汚染物質検査。
- ◆ 一言

アンブロシアは2008年より米国のラボと提携し、血液中のIgG抗体を調べる食物アレルギー検査をご提供しています。病院で通常調べるIgE抗体を測定しても陰性で原因がわからない方や、頭痛、手湿疹、消化不良など、原因不明の不快感慢性症状が続いている方の原因究明の一助となる検査です。また、有害な環境汚染物質の体内蓄積を尿で調べる検査、1日のストレスを唾液で調べる検査、腸内環境検査などもご提供しています。

**株式会社エコ・ワールド**

平成23年 ご入会

- ◆ 所在地 〒879-4404 大分県玖珠郡玖珠町大字森2252-3
- ◆ 電話 0973-72-9710
- ◆ 業種 三次元構造体網状マットレス製造  
マット・枕・座布団・クッション他。
- ◆ 関連商品 編成樹脂網状構造体「E-CORE」シリーズ
- ◆ 一言 「洗えるマットレス!」これが網状マットE-COREの特徴です。アトピーの原因となるハウスダストやダニを溜めず、通気性も抜群でカビなどの発生を抑制。専用の樹脂を立体網状構造にする事で反発力が高く且つ優れた耐久性を実現し、新生児から安心して利用いただける製品です。

私たちは世界の人々がよりよい生活環境で大切な日々を過ごしていただく為に、社会に役立つ価値ある商品を提供します。

剥がせる、水で落とせるなど、子どもに配慮したものは17品目(22.1%)、11商品(23.4%)で2割強しかありませんでした。

また、都内在住の12歳以下の子どもを持つ親に実態調査を行ったところ、有効回答のあった全体1,146名のうち276名(約24%)、女子のみでは571名のうち256名(45%)に化粧の経験がありました。「時々化粧をする」という化粧経験者の子ども10%においては、大人と同様に外出時に化粧を行っていました。そして、化粧の経験者276名のうち6名(2.2%)が皮膚障害などのトラブルを経験しています。

小学生など子どもへの化粧は、お母さんとのコミュニケーションの手段になってしまっているケースもあるようです。しかし一度かぶれてしまうと、それ以降、一生かぶれてしまうことも考えられます。化粧品に含まれる微量の金属やビュウーやピアスなどアレルギーの原因になり得る金属に肌が頻繁に触れることとなります。また価格も100円程度の商品も多く、大人用の高級な成分ではないことが計り知れます。化粧品公正取引協議会が定める「化粧品の表示に関する公正競争規約」では、「これは子ども用の化粧品です。必ず保護者の監視のもとで使用させて下さい」と表示することとされているようですが、この注意書きでは、商品ありきでとても違和感を覚えます。七五三参りにちよこつと、おちよぼ紅はかわいいですが、日常的に使用する子どもの化粧品の必要性については、今一度考え直すべきではないでしょうか。

### ~~~~~ 毛染め人気と皮膚障害の増加 ~~~~~

経済産業省化学工業統計によると、染毛剤・染毛料の出荷額は2005年で約1,000億円でした。2000~2001年頃には出荷額でシャンプーを抜き、頭髮化粧品のトップとなりました。

しかし、前述の「ジャパニーズスタンダードアレルゲン」で紹介した「パラフェニレンジアミン」は発色主剤として使われる物質で、感作性があり、体質によってはアレルギーを発症し、さらに喘息や短時間で急激に激しいアレルギー症状を起こすアナフィラキシーなどが発症する可能性もあり注意が必要です。実際に、消費者庁の事故情報データベースに登録されている毛染めによる皮膚障害事例の件数は、2010年度から2014年度にかけて徐々に増え、2014年度では219件となりました。また、オーストリアなどで「ブラックヘナ」という染料でアレルギーを起こす事故も多発したようです。本来、天然のヘナでは黒く染まることはありませんが、これも添加されたパラフェニレンジアミンが原因で、症状は痒みや水疱、発赤、痛みなどだったようです。なお、このパラフェニレンジアミンは黒いブーツや皮の手袋、財布、染毛剤、黒インク、自転車のグリップなどにも含まれることがあります。

また前述と同じ、都内在住の12歳以下の子どもを持つ親への実体調査では、1,146名中47名(4.1%)の子どもに毛染めの経験があり、その8割以上が染毛剤を使用していたとの結果が出ています。最も広く使用されている酸化染毛剤(ヘアカラー・ヘアダイ)は、他のカラーリング剤と比べてアレルギー性接触皮膚炎を起こしやすい成分(酸化染料)が含まれています。使用して直ぐに異常が起きなかったとしても、低年齢のうちから毛染めを行うと、酸化染料との接触回数が増え、感作が成立してアレルギーになるリスクが高まる可能性があると考えられており、消費者庁も「子どもの毛染めは控えましょう!」と注意喚起しています。

### ~~~~~ ヘアカラーにかぶれたら使用をストップ! ~~~~~

日本ヘアカラー工業会は、「これまでに一度でもかぶれた方は、以後絶対にヘアカラーを使用しないでください」と伝えており、「これまでにかぶれた方は、パッチテストも行わないでください」と呼び掛けています。これは、酸化染料に対するアレルギー反応の症状が出た人は、次に使用した時にはさらにひどい症状が出ることもあり、このアレルギーは一生続くとも言われているからです。かぶれを繰り返すと症状が次第にひどくなり、目のまわりや顔全体がひどく腫れてしまうことがあります。また、洗髪時のすすぎ液が接触した部位を越えて、広範囲に起こることがあります。さらにかぶれを繰り返すと、より深刻な即時型アレルギーが起こることもあるようです。

さらに、ヘアカラーとは全く異なる製品にアレルギー反応を示してしまうケースもあります。これは、ヘアカラーの成分である酸化染料と異なる製品のかぶれを起こす原因成分との化学構造が似ているためで、互いにアレルギー反応を示してしまう「交差反応」を起こします。ヘアカラーの酸化染料と交差反応を示してしまう成分には、歯科治療に用いる局所麻酔剤や、衣類や皮革用の染料などが知られています。なお、消費者安全調査委員会によると、毛染めでアレルギーになる可能性があることを知っているという回答した消費者は62.1%でした。また、

毛染めをして皮膚などに異常が出たことがある消費者に聞いたところ、「別の製品に変えれば改善されると思う」が56.6%、「体調が良い時に毛染めすればこのような症状は現れないと思う」が32.5%、「理美容院で染めているが、店を変えれば改善されると思う」が26.2%、「症状が現れない人は、ずっと無症状のままだと思う」が40.2%で、特にアレルギーのリスクに対して十分な認識を持っていない人が多かったようです。

### ~~~~~ ドライクリーニングで化学やけど? ~~~~~

少し古い資料ですが、1999年の国民生活センターの発表によると、ドライクリーニングした衣類にクリーニング溶剤が残留していたのが原因で、身体にトラブルが発生した事故が報告されています。溶剤の接触によって皮膚が赤くなったり、やけどのようになる皮膚の被害が殆どですが、ほかには眼の異常や気分が悪くなったという報告もされています。

「化学やけど」とは、酸やアルカリなどの薬剤が皮膚に付着や接触した際に、皮膚の表皮や真皮の細胞を侵すことによって起きるものです。灯油やガソリンが皮膚についた場合にも起きてしまいます。化学やけどになった衣類の種類では、皮革製のズボンに多く発生(全体の約85%)したようです。また発生月別では、9月以降で月を追って増加し1月をピークに3~4月頃までが発生しやすいようです。クリーニング技術部会は、事故が発生しやすい衣類として、合成皮革、人工皮革などの皮革製品、透湿防水加工布使用製品、中綿入り製品、ダウン製品、肩パッド入り製品などを挙げています。クリーニング溶剤の石油系溶剤は皮膚を透過しやすく、症状はまずピリピリ感が出て、着用し続けると肌が赤くなり、腫れあがって水ぶくれができます。2度の熱傷状態になる場合もあり、治療後も色素沈着を起こすこともあります。

化学やけどを防ぐためには、「すぐに袋から出して石油臭などの異臭がしないか確認し、風通しの良い屋外に陰干ししてから着用する」、「スキーウェアや合成皮革のような厚地の素材や肩パッド部分など、湯ぎにくいものは、クリーニング後十分に時間をおいてから着用する」ことが大切で、日本皮膚科学会ガイドラインでも「発症予防には、クリーニング後の衣類の乾燥の徹底化が必要である」としています。なお、ストッキングや下着を通過して皮膚を侵すこともあるため注意が必要です。

一方、全てのクリーニング店とはいきませんが、「化学やけど」を起こさせない為に、ドライチェッカーと言われる機械で衣服に付着する溶剤の残留度を計測した上で、お客様に返却してくれるお店もあるようです。

### ~~~~~ 皮膚炎を起こしやすい植物たち ~~~~~

#### ■ 野外で触れる

植物かぶれの代名詞のようなウルシ。毒性の強いツタウルシには注意が必要ですが、実際には野生のものはそう多くないそうです。ウルシやハゼノキによる接触皮膚炎の原因成分はウルシオールで、日本人の1割程度の人がウルシオールにアレルギー反応を示すと言われています。なお、カシューナッツやピスタチオ、マンゴーもウルシ科に分類されていますから、先程の「交叉反応」の可能性も考えられます。またイチチョウは、銀杏の周りの悪臭のある部分でかぶれを起こしやすく、ウルシオールのような成分であるイチオールが含まれています。その他、イラクサ、マムシグサ、センニンソウなどはアレルギー性ではなく、刺毛や液汁に刺激物質を含んでいます。

#### ■ 庭園で触れる

サクラソウ皮膚炎は、花卉や葉、茎の毛に含まれるプリミンという成分が原因です。サクラソウ科のトキワザクラが有名とのことですが、同じ科のシクラメンの葉や茎の汁に触ると接触皮膚炎が起こることがあります。そのほか、キクやアネモネ、スイセン、チューリップの球根などが原因になることもあるようですから、ガーデニングも注意したいところです。なお、植物を加熱処理してタンパク質が変性すると、抗原性が失われて接触皮膚炎が起きなくなるとされていますが、絶対に大丈夫とは限りません。特に、生のままの植物で自家製化粧水をつくった時などは、非常に危険な場合もあります。また、接触皮膚炎の原因油脂として「シアバター」による被害も報告されています。シアバターはツツジ目アカテツ科に属し、サクラソウやキウイに近いものとされており、最近ではハンドクリームや石けん、シャンプーなどにも配合されていますので、商品記載の成分をしっかりとチェックして下さい。

#### ■ 台所で触れる

マンゴーやパイナップル、キウイフルーツ、三つ葉やレタス、シソ、ニンニ



クなどが原因となることがあります。仕事上で大量に扱う人の場合が殆どですが、一般の家庭では稀なため、洗剤かぶれとよく間違われるようです。また、セロリは腐った部分が皮膚につき、その後日光に当たると炎症を起こす可能性があるようです。

■ その他

2013年以降、流行りの柿渋入りの石鹸やシャンプー、歯磨きで口腔アレルギー症候群が起きている方がいるようです。柿はツツジ目カキノキ科に属し、近縁のものにキウイやブラジルナツ、ブルーベリーなどがあります。前述のシアバター入りの商品なども含め、植物由来の化粧品などについては、皮膚の柔らかい部分に塗って24時間経過させるなど、自分自身でパッチテストを行うことも大切です。絆創膏による簡易のクローズドパッチテストも有効かもしれませんが、あくまで素人判断となりますので、花粉症や口腔アレルギーのある方は、特に慎重に対処して下さい。

\* 衣類に対する日本の規制 \*

繊維製品の加工剤に含まれる有害物質の規制

日本には、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(昭和48年)があります。ここでの「有害物質」とは、家庭用品に含有される物質のうち、水銀加工物その他の人の健康に被害を生ずるおそれがある物質として定義されています。現在までに20物質が規制されていますが、特に繊維製品との関係で注意する必要があると思われる一部の有害物質を紹介します。

■ 有機水銀化合物

対象となる繊維製品:下着、靴下、手袋、おしめ、おしめカバー、よだれ掛け、衛生バンド、衛生パンツ。

基準:検出しないこと(1ppmを超えてはならない)

■ ホルムアルデヒド

1) 対象となる繊維製品:生後24カ月以下の乳幼児が使用する次のもの(おしめ、おしめカバー、よだれ掛け、下着、寝衣、手袋、靴下、中衣、外衣、帽子、寝具)

基準:吸光度差0.05以下又は16ppm以下

2) 対象となる繊維製品:下着、寝衣、手袋、靴下、足袋(生後24カ月以下の乳幼児用を除く)

基準:75ppm以下

■ ディルドリン

対象となる繊維製品:おしめカバー、下着、寝衣、手袋、靴下、中衣、外衣、帽子、寝具及び床敷物、家庭用毛糸。

基準:30ppm以下

ホルムアルデヒド(別名:ホルマリン/正式にはホルムアルデヒドの水溶液を指す)は、繊維製品の場合、防しわ・防縮剤として芯地等の接着剤やプリントの塗料などに使用される場合があります。現在ではノンホル樹脂剤などが使用されることも多くなってきており、一部のアパレルや小売店では規制値より厳しい数値を設定している企業もあります。ホルムアルデヒドは発がん性物質とされており、その有害性から国内でも、あらゆる分野で規制が設けられており、生後24カ月以内の対象繊維製品での基準値は16ppm以下、24カ月以上の子どもや大人では75ppm以下と定められています。しかし、厚生労働省が定める「室内濃度指針値」によると、ホルムアルデヒドは0.08ppmとなっています。確かに繊維製品は洗濯することで濃度が低減することも試買調査で確認されていますが、この大きな差は気になる点です。これについては、長谷川クリニック(長谷川浩院長先生)のHPにおいても「バジャマの柔軟剤による接触性皮膚炎の1例」として報告されています。<http://homepage2.nifty.com/midoriyama/teian.htm>

繊維製品の輸入品割合が90%を超える日本

独立行政法人中小企業基盤整備機構の「繊維中の有害物質に関する調査事業」の報告書(2010年)によると、日本は世界に先駆けて衣類に係るホルムアルデヒドの規制を開始し、いくつかの有害物質について法規制が行われているが、繊維製品の輸入品の割合が90%を超えている実態があり、一部の輸入品には有害物質が検出されているとされており、「これらに係る物質については、いずれも法規制あるいは業界全体として遵守すべき自主基準はないのが現状」とのこと。家庭用品規制法では、いくつかの物質が規制されていますが、「必ずしも繊維製品関連物質を網羅的に検討したものではない」、また、「国内には消費生活用製品安全法があるが、現状では繊維製品有害物質関連の項目はない」とされています。

繊維製品におけるアゾ色素の業界自主規制

経済産業省は「繊維製品などの安全性の確保について」の発表(2012年)で、一部のアゾ色素について家庭用品規制法を所管する厚生労働省に対し、それを使用した繊維製品などの規制の検討を継続的に要請するとともに、自主的な取り組みを繊維産業界(日本繊維産業連盟)に要請し、繊維製品の安全性の確保に努めてきたとのこと。日本繊維産業連盟では、業界自主基準を2009年に策定し、その運用が2011年秋冬物から開始され、不使用宣言などの提出も一部では実施されているようです。アゾ色素とは、全色素の60~70%を占める一般的な色素で、有害芳香族アミンに変化するのは全アゾ色素のうち約5%(179種類)で、他のアゾ色素で代替することが可能とされています。諸外国では、1999年のオランダの国立研究所による見解を端緒として、健康リスクの低減のため、有害芳香族アミンに変化し得るアゾ色素についてEU(2002年)、中国(2003年)、韓国(2010年)などで繊維製品への使用が禁止されました。日本での実態としては、染色に使用されるアゾ色素自体には、染色された衣類の着用などにより健康被害を生じさせるという指摘はないものの、一部のアゾ色素については発ガン性のある芳香族アミンに変化する可能性が指摘されています。有害芳香族アミンに変化し得るアゾ色素で染色された繊維製品の使用が、ガンの発症に至るには様々な過程を要することや、また、その関連性が疑わしい事例もないようです。さらに、これまで行われた試買調査では、有害芳香族アミンはほぼ不検出で、現段階では国内に流通する繊維製品に、有害物質に変化するアゾ色素が使用されている可能性は小さいと考えられています。

国別で見る有害物質規制

しかし、国別の規制比較によると日本は、欧州や韓国などの諸外国に比べて、繊維製品に関わる有害物質の規制に限っては、国が厳しく取り締まっているとは言えない状況のようです。特に「アレルギー誘発性染料」については規制が定められていません。下記「国別規制比較」表はニッセンケン品質評価センター様よりご出典頂きました。表右端の「エコテックス」基準は、全世界共通の「繊維製品の安心・安全の証」とされていますが、日本国内の法規制が無い場合、輸入品を含め国内に流通する繊維製品全てがエコテックス基準をクリアすることは難しいのかもしれませんが、他国と比べると、ちょっと心配になってきます。

国別規制比較

試験項目	日本 家庭用品 有害物質規制	中国 GB 18401	台湾 ONS 15290	韓国 KCF-5	欧州 REACH	米国 CPSA	エコテックス Oeko-Tex Standard 100
pH(水素イオン指数)		○		○			○
ホルムアルデヒド	○	○	○	○	△		○
重金属(溶出)				△	○		○
(含有)			○	△	△	○	○
残留農薬	△				△		○
フェノール類					△		○
フタレート(可塑剤)				○	○	○	○
有機スズ化合物	△		△	△	△		○
特定芳香族アミン	○	○		○	○		○
アレルギー誘発性染料				○			○
塩素化ベンゼン・トルエン					△		○
その他	比色剤 防縮剤	染色 留年度	NP NPE0	防縮剤 DMF	揮発 項目		揮発項目

△:部分的実施

もう一度「あたりまえ」を見直す

「触れる・さわる」と題して、色々資料集めを進めると、あれだめ!コレだめ!という内容になりそうなのと思いつつまとめてみると、やはり後ろ向きな内容になってしまい少し反省です。でも日常生活で「あたりまえ」を見直すだけで、避けられる事もあると感じました。「手を洗う」「うがいをする」は、「あたりまえ」の代表選手です。衣類もタオルも買ってきたらまず洗濯。スマホで手が汗ばんでいませんか?ヘッドホンで耳の中が蒸れたり、痒かったり。頬骨のあたりが痒いのは、マスクが原因かもしれません。国などが定める有害物質の規制基準は、アレルギー疾患があるヒトを対象としている訳ではなく、あくまで健康への有害な影響は受けないであろう値が示されています。前号でもご紹介したTPPによって、今まで流通していなかった原料が紛れ込み、私たちの日常生活で、知らないうちに「触れる・さわる」可能性も考えられます。新しい環境や商品で、鼻ムズムズ、目がチカチカ、のどがイガイガなど、身体センサーが働いたら、ちょっと生活環境のチェックが必要なかもしれません。



## ハーイ！アトピーづき合い40年の友実です



フリーアナウンサー 関根 友実 連載第24回

出会いの季節...ではありますが、今日のテーマは新しい疾患との出会いについて書きますね。昨年夏ごろより、目の不調が長引いています。アトピー性角結膜炎という診断を受け、治療を続けているのですが、まさに一進一退。この病気は、アトピー性皮膚炎の患者さんが併発しやすい結膜炎で、強い痒みを伴います。結膜は赤く分厚くなり、涙が流れ、瞼も腫れて目の際が切れてきたりします。治療は抗アレルギー薬やステロイドの点眼を行います。治療が長引くと、眼圧が高まるという副作用や視力低下が起こると言われています。常に症状を見ながら、薬の強度や頻度を増減していくという職人的な治療になります。

夏の終わりごろに眼科へ行き、本格的な治療が開始しました。秋が更けても治療は一進一退していたのですが、冬にかけて徐々に落ちつき、薄い濃度の点眼を一日に一回程度で再燃を抑えられていました。しかし、花粉の時期がやってきて、再燃の気配。秋の花粉と春の花粉、どちらも私にとっては鬼門です。アトピー性角結膜炎の治療は、まず強めの薬でしっかりと粘膜の炎症を抑えて掻き壊しの悪循環を断つという、まさにアトピー性皮膚炎の治療と重なります。そして、状態が落ち着けば、徐々にステロイド点眼薬の濃度を下げていき、予防のための抗アレルギー薬の点眼を続けながら、眼の周りのスキンケアとして保湿を手厚くやっていくという治療ステップを踏みます。皮膚炎と同様に、一度慢性化してしまうと、なかなか完治には至らない疾患のようです。

それにしても、「悪循環を断つ」というのは難しいものです。意志や気合など、人間の精神力は大きな衝動の前には無力なのだと思います。知るところが幾度もあります。そして、抗いきれずに掻いてしまった瞬間の、猛烈な痒さに刺激を加えていることにより生じる快楽と何とも言えない敗北感、そして襲い掛かる後悔。洋服などで隠せる場所ならまだ楽かもしれませんが、顔や目となると掻き壊しによるダメージは大きく、掻いてしまった後の絶望感や罪悪感が半端ないです。「次は絶対に掻かずに痒みの衝動を乗り切ろう」と心に誓うのです。そして、猛烈な痒みが襲ったらすぐに保冷剤で冷やして痒みを抑えるなど、衝動を乗り越える作戦を考えて、実践したりします。一日の行動パターンの中で、痒みの襲うタイミングを分析して、事前に備えたりもします。私の場合は、仕事が終わってホッとした時に波が来ることが多いです。新しく増えてしまった症状を早く治したくて不安と焦りが大きかったのですが、再燃したことでかえって肝が据わりました。嬉しくはない出会いですが、お薬の力を借りつつ、セルフケアを学びながら、眼の病気と向き合っています。皆さんにとっては、嬉しい出会いの多い春になりますように。

## 関根 友実プロフィール

元朝日放送アナウンサー。女性で初の全国高校野球選手権大会の実況を行う。現在は臨床心理士の資格を取得し、心療内科で勤務する傍らフリーアナウンサーとしてテレビ・ラジオで活躍中。アトピー性皮膚炎、アトピー白内障、アレルギー性副鼻腔炎、アレルギー性気管支喘息、蕁麻疹など、幼少期より様々なアレルギー疾患を経験。現在も家庭と子育て、仕事、自らのアレルギーに奮闘中。

## ちょっと気になるニュース

### 日用品による皮膚障害あれこれ

毎日のスキンケアは、我ながら面倒くさいし、お母さんも子どもさんの身体全身に毎日、お薬や保湿剤を塗ることも大変です。でも、それをサボると翌日にはしっかりその反動があつて、落ちこんだり、反省したり。反面一生懸命、ケアしていても日常生活では様々な物に触れて、原因不明のかぶれや湿疹がいつの間にか?ということが実はしばしばあつたりしているのかもしれない。その具体的な事例が掲載されている書籍「デルマ」(2015年5月号/No.231-全日本病院出版会出版)からご紹介します。この書籍は、皮膚科専門医の先生方による臨床報告などで構成されています。やはり美容師さんのような専門的な職業による症例も多いようですが、もっと日常的なケースもあるようです。衣類では金属かぶれの経験がある女性が、色物下着を着用するとかぶれが発症するため、医療機関を通じ製品分析を委託すると染料に含まれる金属成分や一部の染料成分に陽性反応を示したとのこと。運動靴では、ゴムの加硫促進剤が原因でズック靴皮膚炎を起こした症例や、サッカーシューズが原因と考えられるクロムアレルギー症例も報告されていました。また日用品ではジーパンなどを履く時に使用するような、大きな金属製のバックルが付いたベルトを日常的に使用していた男性が、へそ下のちょうどバックルが触る部位に炎症があり、身体や手足にも炎症が広がっていたのですが、バックルが肌に触れないように指導すると、へそ下の患部は勿論、身体や手足の湿疹も改善されたとのこと。女性では、目元全体に赤みのあるかぶれがあり、アトピー性皮膚炎や花粉症による皮膚炎なども疑われる症状のようですが、パッチテストによりニッケルアレルギーが判明。日々使用している金属製のビューラーによる接触皮膚炎と判明し、樹脂製のビューラーに変更すると軽快したとのこと。その他にも、メガネの先セル(耳にかかるところ)、先っぽのセルロイドの略のようです)で、耳の後ろに炎症があつた症例では、先セルの染料に陽性反応があり、先セルにシリコンカバーを付けることで対処されたようです。缶ビールや缶ジュース、流行りのマイボトルによる口周辺の湿疹や、金属製の歯間ブラシでも口周辺の接触皮膚炎症例もあるようです。乳幼児や子どもでは、金属製のスプーンを食事に使用し、右利きのために右口角にかぶれを起こした症例や、ミニカーなどの金属製のおもちゃによる手のひらの炎症なども報告されています。さらには日々、手にしているスマホのゴム製ソフトカバーによる皮膚炎の症例も。スマホ依存症が、こんなところにも健康被害を与えるかもしれないので、ホドホドに。

不思議な手ざわり

# かんてんねんど

対象年齢 3才以上

Shachihata

**アレルギーの心配が少ないねんど。**

安心して遊べる食用色素と食品素材(寒天)を使用。  
においも少なく、手にくっつきにくいねんどです。  
乾きにくいので、長時間かけて制作できます。

かんてんねんど5色セット  
あか・あお・きいろ・くろ・しろ

シヤチハタ株式会社 [www.shachihata.co.jp](http://www.shachihata.co.jp)

送達ご希望の方はご連絡ください。 書面・メールにて受付中

## 日本アトピー協会通信紙 あとびいなう

通信紙「あとびいなう」は積極的な治療への取り組みと自助努力を促すことを趣旨とし多くの患者さんに読んでいただきたく無料でお届けしております。ご希望の方はお届け先・お名前・電話番号やメルアドなどをお知らせください。患者さん・医療従事者の方に限定しておりますが一般の方もご希望でしたらご連絡ください。スクリーニングの結果、お届け出来ない場合もありその節はご容赦ください。なお協会ホームページからもお申し込みいただけます。

次号発行予定 5月12日

〒541-0045  
大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階  
電話 06-6204-0002 FAX.06-6204-0052  
E-Mail [jadpa@wing.ocn.ne.jp](mailto:jadpa@wing.ocn.ne.jp)  
Home Page <http://www.nihonatomyjoin-us.jp/>



## ドクターインタビュー

河合 敬一(かわい けいいち)先生

医療法人 河合敬一皮膚科医院 院長

阪急西院駅より西大路通りを南に徒歩7分。京都市右京区で平成19年に開業された河合敬一皮膚科医院では、一般外来だけでなくスキンケア外来も行っておられます。今回は、アトピー性皮膚炎をはじめさまざまな治療に取り組んでおられる院長の河合敬一先生にお話を伺いました。

——アトピー性皮膚炎の治療方針について教えてください。

患者さんが求めている治療と医師が提供する治療とが合致しないとうまくいきません。これは私の考えですが、多くの患者さんが求めていることは、なるべくステロイドは使わず、きちんと原因を調べて欲しいということです。その上で痒みを抑えて、きれいになりたい。これを望んで来院しています。ところが、多くの医者が行っているのは、ステロイドやタクロリムスを使用して、症状を抑え、スキンケアを行い、その結果よくなりましょうということです。そこに最初から食い違いがあることを、お互いに認識しておくべきです。その食い違いの理由を、丁寧な言葉でわかりやすく説明して、治療を納得するよう説得することから始めています。

具体的な治療の第一ステップは、かゆみで夜眠れない、皮膚がじゅくじゅくで見せられないという状態などの苦しみからの解放。これには薬剤療法が必要です。その次に、患者さんが感じるのは、こんなにたくさんステロイド薬などを使って大丈夫なのかという不安です。ステロイド薬の副作用についても説明し、副作用を生じさせないためのステロイド使用法も説明します。この不安から解放し、これでやっていけるんだという自信をいかに取り戻してもらうかが大切です。このためには、ある程度よくなった後の治療の重要性を理解してもらい、寛解時の受診を強く勧めます。これには悪化因子の検索のみならず適切なスキンケアや日常生活の改善など多岐にわたります。

最初の食い違いから合意に至り、ちゃんと治療して苦痛を改善した後、今度は治療や今後の不安を取り除き、これだったらやっていけるという自信をもてるようになること、これが治療目標です。

——皮膚科外来の診察や治療についてお聞かせください。

患者さんに、アトピー性皮膚炎はどんな病気なのかということを知ってほしいです。アトピー性皮膚炎に共通する症状は、痒いこと、そして、病変は湿疹です。そしてこれは、慢性の経過をとります。これらのことがアトピー性皮膚炎の診断基準に記されています。日常用語で分かりやすく言い直し、アトピー性皮膚炎は「慢性、かいかい、ごわごわ、ざらざら病」だと説明します。慢性で痒く、発疹がごわごわしている、そして、ざらざらは診断基準に唯一抜けているドライスキンのことです。アトピーの方全員に共通することなので、難しい説明よりこの方が分かりやすいと思います。診断基準には、皮疹の好発部位も記されています。すなわち、関節の内側とか凹んだ蒸れやすいところと、額や首などの擦れやすいところが発疹の好発部位です。なぜ、そこに症状が出やすいかと言えば、例えば新車はつるつるでピカピカだけど20年も乗れば皆だいたい同じ箇所が傷むように、いちばん皮膚が刺激を受けやすい箇所だからです。それは、決してアレルギー反応ではなく、刺激性皮膚炎なのです。アレルギー反応はアトピー性皮膚炎の重症化には関与しますが、大多数の軽症例は刺激性皮膚炎が中心です。

治療についてですが、アトピー性皮膚炎は慢性疾患であることを理解してもらいます。慢性疾患、例えば高血圧ならすぐく血圧が上がった時だけ治療するわけではないですね。アトピーも同じことです。しかしながら、アトピーの患者さんの大多数は症状が悪化してから診察に来ます。はじめから慢性疾患の治療としては間違っています。「ちゃんとアトピーを治すのなら、調子のいい時に来て下さい。その時に、どれだけのことが出来るかが大切。酷くなった時の治療より、軽快した時のケアにかかっていますよ。」という話をします。

悪化時の皮膚症状を抑えるための手段のメインは外用ステロイド、外用タクロリムスになります。ステロイド外用薬は、弱いものよりある程度強く、しかもしっかり塗って数日できれいになるものがよいと考えています。でもステロイドの欠点の一つは、症状を抑えても、ドライスキンすなわち皮膚バリア機能を改善できないことです。ですので、ステロイドを使用して症状を抑えても再発を繰り返します。タクロリムス外用薬は、改善した状態の維持、すなわち再発予防によく用います。しかしながら、刺激感が問題となります。解消法として、保湿剤を先に外用することはもちろん、刺激感が許容できる程度の狭い範囲(約2cm角ぐらいの範囲)を決めこの部位に毎日繰り返し塗ってもらいます。5日間程度繰り返すと刺激感が薄れ塗れるようになるので、徐々に外用範囲を増やしていきます。

ステロイドやタクロリムスによる加療に加えて、肌が良い状態の維持のため、さまざまなことをしていく努力が非常に大切です。目標は皮膚

DOCTOR INTERVIEW



河合 敬一(かわい けいいち)先生のプロフィール

昭和59年	京都府立医科大学卒業
昭和59年	神戸市立中央市民病院皮膚科
昭和61年	京都府立医科大学皮膚科
昭和62年	医療法人社団 河合医院 副院長
平成14年	医療法人社団 河合医院 院長
平成19年	医療法人 河合敬一皮膚科医院 院長

◆資格・役職  
医学博士・皮膚科専門医

◆専門分野  
皮膚刺激、皮膚アレルギー、接触皮膚炎

DOCTOR INTERVIEW

のコントロールです。「理想は1年間に1回も悪化しないこと。」とよく話します。

これが当院で行っている治療の概略です。寛解時に、さまざまな取り組みを行い、徐々にステロイドを減らし、かつ、かゆみから解放され笑って暮らせるようになることを目標としています。

——肌を良い状態に維持するためにはどんなことに気をつけなければいいですか？

スキンケアと生活改善が重要です。保湿は、重要なスキンケアです。保湿剤は種類よりもむしろ外用回数を多くすることです。ヘパリン外用剤では、1日1回より2回塗る方が効果が高いという論文もあります。ワセリンを代表とする、エモリエント剤の使用法も説明します。ワセリンを容器ごとお風呂にもって入り温めて、お風呂から出る前の水滴が付いている肌に塗ります。ワセリンを温めておくと非常に塗りやすいので、フライパンに油をきれいに引くようなイメージでまんべんなく塗るように指導しております。それを夜にして、日中は外用しやすい保湿剤を出来る限り頻りに塗ってもらいます。ワセリンは、サンホワイ、クロラータムなどの酸化されにくいものの方が良いです。

最近、最も有効な保湿手段として、たっぷり汗をかいてもらうように指導しています。汗をたっぷりかいているアスリートには、アトピーの人はいません。汗をいっぱいかくことはアトピーに良いと話をすると、患者さんは汗をかくと痒くなるといわれます。汗の管が水道だとしたら、台所の水は毎日使うからきれいな水が出てくるけど、ほとんど使わない水道は少ししか出なかつたり汚い水が出てくる。汗を大量にじゃんじゃん出せば、詰まっていた汗が流れ出て、皮膚温も調節され、痒みが和らぐのです。風呂に入って温まった瞬間に痒いのは、汗を出そうとするけど詰まってしまうから。勧めているのは、41度までのお風呂に30分以上入ること。すると額からタラッと汗が出てくる。その時体験してほしいのは、額から汗が垂れたところは、痒みが和らぐことです。汗が出やすくなれば、運動やサウナなども積極的に行ってもらいます。

皮疹が落ち着いても、特に顔などもっときれいな肌になりたいと願う方は少なくありません。その気持ちに添えたいけれど、従来の治療では難しいです。そこで、当院では、メソポーレーション法やイオン導入などによりビタミンCや保湿成分を導入するスキンケア療法も行っています。また、皮膚から吸収できるように開発された脂溶性ビタミンC誘導体を使用したクリームなども用意しています。ビタミンCは、角質層のセラミド合成を高めバリア機能の改善に有効で、アトピーが本当によくになります。

——アトピーの患者さんへ、メッセージをお願いします。

「Happy Go Lucky」を勧めています。これは、楽天的、なりゆき任せという意味で、明日のことを考えない人を揶揄したような言葉ですが、とにかく楽しく毎日を過ごそうということです。アトピーの人は、非常にまじめであれこれ頑張ろうとしてストレスをためてしまい、このことで悪化してしまう方が多いです。ですので、少し力を抜きながら、楽しく、少しづついい皮膚を作っていきましょうとお話をしています。

——本日は、ありがとうございました。



## 恒例 秋のリクレーションに行ってきました!

昨年(11月29日(日))正会員の患者さんと共に、今回は天空の城「国史跡 竹田城跡」に行ってきました。大型バスを貸切り、大阪北浜より和田山インターを経て麓の駐車場へ。ここでマイクロバスに取り換え中腹駐車場へ到着。城跡門前からは山道を約20分皆さんマイペース



で登り、城跡に到着。登山道の修復工事も終わったとはいえ、最後の石段は当時のままなのか険しい段差もありで、運動不足の足腰が早くも音を上げそうでした。城跡内は滑り止めも施され順路どおりに北千畳から三の丸、二の丸を経て、天守台から本丸跡と巡ります。到着時間がお昼過ぎでしたから雲海のない景色ですが、標高353メートルにある本丸から見える景色は但馬地方が一望出来るまさに絶景。東京スカイツリー展望デッキを凌ぐ高さのようで、皆さんスマホやデジカメでの撮影に大忙し。撮影ポイントによって、様々な城郭が撮れるため順路を振り返りながらの撮影も。そのあと南二の丸、南千畳を巡り、城郭に積まれたハート型の石探しをして再び記念撮影。山城なら当たり前ですが、それにしても城郭の大きな石をどのようにして採石場から頂上まで運んだのか、昔人の偉大さを感じました。そして同じ道を徒歩で下山し、先程の中腹駐車場でマイクロバスにのり予約していたレストランで昼ごはん。但馬牛も付いた「本丸御前」を皆さんで頂き、暫しの歓談。レストラン横の資料館も拝見し、お土産



屋さん覗いて帰路の大型バスへ。途中、道の駅に寄ってもらおうと、ちょうど特産品の岩津ねぎが解禁されていて、なんと「ねぎの天ぷら」を試食。これまた絶品で、バスの中やんわりねぎ臭を漂わせながら帰路に付きましました。

## 円錐角膜の患者さんが電子書籍「一筋の光がシャンデリア」を自費出版!

以前、なうでもご紹介した眼の疾患で、アトピーの方も注意が必要な円錐角膜(えんすいかくまく)。その疾病と日々過ごされている平野洋二さんが、6年の歳月をかけて自身の体験を綴った電子書籍を出版されました。平野さんは13歳の時に視界がぼやけ、病院で円錐角膜と診断されました。円錐角膜は角膜が変性して薄くなり眼の中心部が徐々に飛び出し、視界が湾曲したり二重に見えたり、眩しく見えたりと日常生活に大きな支障を来します。治療法は進行すると角膜移植しかないようです。通常は、専用のハードコンタクトレンズ(HCL)を作り、症状の進行に合わせての調整を繰り返します。時にはHCL装着で眼に傷が付き激痛が走ることも。18歳の時には、HCLが角膜から浮き、傷による激痛で1日何も出来ない日が増え始めます。社会人となりHCLを付けての仕事をさらに負担がかり、28歳の頃には仕事にも支障を来すようになり視力低下も著しく、やむなく退職。30歳で角膜移植手術を受けられましたが、今度はアトピー性強角膜炎の合併症を発症。眼も充血し開けにくい状態で、感染症を併発する危険性が高いため外出もままならないとのこと。平野さんは現在31歳。眼の調子で1日何も出来ない日もある中での自費出版です。電子書籍ですからkindle無料アプリをダウンロードしてPCやスマホで読むことが出来ます。定価は300円。印税は全て「認定NPO法人 難病のこども支援全国ネットワーク」にご寄附されます。円錐角膜の患者さんは1000~2000人に一人と推計されているようですが、その発症原因は不明。アトピー症状がある方では約0.5%程度のようなのですが、アトピー症状が無い方と比べると10倍以上とも云われます。平成27年より、ようやく障害者総合支援法の対象となったようですが、まだまだ円錐角膜の患者さん方の治療環境は整っていません。専用のHCLは非常に高額で保険適応外。角膜移植を希望しても、国内では長期間待つこともあるようです。眼を擦ることも多い皆さんにも円錐角膜への理解を深めて頂きたくご紹介しました。ご一読下さい。

ご購入は、著書名で検索またはアマゾンブックでも購入出来ます。

\*文芸社ビジュアルアート出版  
文化賞2009審査員特別賞作品



## 読んでみました!! この書籍!!



みなさんのご参考になれば幸いです。読めば参考になったり、反対に落ち込んだりする事もあるかもしれませんが、頑張って前向きに捉えて行きましょう。

【タイトル】「メディア・バイアス」

【著者】松永和紀 【出版社】株式会社 朝日新聞社 【定価】本体740円+税

著者は京都大学大学院農学研究所修士課程修了。毎日新聞社の記者として活躍され、その後フリーの科学ライターとして活躍中。

そもそもメディアバイアスという意味は、多種多様な情報の中から自分達にとって都合の良い情報や、白黒ははっきりしないものを選び報道することで、メディアによる取捨選択の歪みをアメリカではこう呼ぶようです。健康情報番組は相変わらずの花盛り。あれが良い、コレが効くなど毎日のように放送されています。1つの棚から1種類の商品が突然無くなる事もしばしば。ところが米国の博士の発言にメディアが都合の良い翻訳スーパーを流していたり、とあるダイエット法を紹介して650人もの救急搬送患者を出した事件。寒天ダイエットも元は、糖尿病患者さんの食事療法だったものが、いつしかダイエット効果が強調された結果、寒天が腸内で水を吸って膨らみ、便秘に苦しんで医療機関を訪れた人もいたようです。テレビ番組は視聴率が全てとなっているので、ヒトの健康についての番組を、内容の裏付けもそこそこでは、無責任では済まされないはず。アトピーにはコレ!という番組は流石に見受けませんが、協会にも時々電話で「今日夕方放送なのですが、簡単に教えて下さい」なんて問合せも。企画書も何にもなく「直ぐ答えて!」という雰囲気には、がっかりするばかりです。



【タイトル】「ほんとうの『食の安全』を考える」

【著者】畠山智香子 【出版社】株式会社 化学同人 【定価】本体1600円+税

著者は、国立医薬品食品衛生研究所主任研究官。ご専門は薬理学、生化学。ガンになるとか、残留農薬や添加物漬けの食品などイエローフラッグを表題に大きく掲げ、不安を煽る書籍名や雑誌は、多数ありますし、テレビでも健康情報番組は高視聴率とか。そんな中、サブタイトルの「ゼロリスクという幻想」という部分に魅かれ読んでみました。表紙のトマトを例にとると、トマトには2500以上のタンパク質が存在し、それらが作り出す化合物は800以上あるとされているそうです。可食部はその一部との事ですが、もしトマトに全成分表示義務があったら一冊の本が出来上がり。残留農薬や添加物が絶対安全な成分とは思いませんが、昔から被害も無く食してきた食物は、経験則で大丈夫とされている部分も大きいようです。確かに健康を脅かすような食品や食物は避けたい所ですが、便利と引き換えに健康を犠牲にしている部分もあるかもしれません。爆買の中国人がスーパーで〇〇さんの朝採りトマトという生産者の写真付きトマトを見て「この生産者は捕まらないのか?」と云ったとか。日本の食物の安全性は世界的にも厳しい基準とされていますが、ゼロを目指せば安全ということ、ちょっと考え違いなのかもしれません。



図書の貸し出しいたします。詳しくはお問い合わせください。

TEL 06-6204-0002 FAX 06-6204-0052